

江戸川区の全小・中学校・幼稚園の休校に関する緊急要望

2020年3月2日 日本共

産党区議団

2月27日、安倍首相は突然、全小中学校・特別支援学校の一律の休校を要請しました。その結果全国で大混乱がおきています。この要請については、その必要性を示す具体的な根拠が明らかにされず、一律全校休校の要請の一方で、休業せざるを得ない保護者への対応や、休校中の子どもたちの過ごし方など、具体的なことが全く明らかにされていません。そのため障害児を抱える家庭をはじめ、ひとり親家庭や共働き家庭など、多くの保護者・区民から困惑や戸惑い、悲鳴の声などが寄せられています。

また、その後萩生田文部科学大臣が、学校休業の時期や形態については、それぞれの自治体に応じて柔軟に判断することも求められています。

予算特別委員会で、区長から本区の主要な方針については説明があり、区立小・中学校、幼稚園は休校とし、保育園・学童クラブについては開園、学童クラブ登録についても随時受け付けることが示されました。

以上を踏まえ、以下の点について緊急要望をさせていただきます。

- 1、全校休校の時期や形態については、自治体独自の柔軟な判断も認められている。本区教育委員会としては、休校の期間などについて独自の判断をすること。
： ¥ p:¥p
- 2、新型コロナウイルスの感染状況を判断しながら、学校登校日を分散的に設けるなど子どもたちの交流を図ること。
- 3、学童クラブ登録にかかわらず、小学校低学年と特別支援学級の生徒に限り休校中も校舎内で過ごせる居場所としての対策を検討すること。希望者には給食を提供する措置をとること。
- 4、今回の中学卒業生は、9年前の入学時も東日本大震災にあたり、今回の卒業式も縮小した規模で行われ、学校での卒業を祝う催しなども中止される。また、進路未定の生徒も残されている。こうした卒業生などの心のケアのため、卒業後など可能な時期に学校主催で思い出に残るような取り組みを検討すること。
- 5、休校する学校などに働く臨時・非常勤職員、委託業者及び食材等の納入業者の減収に対する補償を検討すること。